

(様式1)

令和5年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
海王丸パーク及び富山新港臨海野鳥園 港湾課

2 施設所在地
射水市海王町8番地

3 施設設置年度
平成4年度

4 設置目的
【海王丸パーク】
「日本海ミュージアム構想」の中で、帆船海王丸を中心に、人と海とがふれあえる体験パークとして位置づけられた中核施設。
【富山新港臨海野鳥園】
「日本海ミュージアム構想」の中で海や自然とのふれあいの場を提供するため造成され、池や樹林地などの恵まれた環境に、四季を通じて多くの鳥たちが飛来し、野鳥の自然な姿を観察することができる。

5 施設概要
【海王丸パーク】
敷地面積：約9.6ヘクタール
主な施設：緑のパーゴラ…鉄骨造2F建 1819.21㎡
休憩所…鉄筋コンクリート造1F建 108.71㎡
ラジコン広場…3020㎡
【富山新港臨海野鳥園】
敷地面積：約4.6ヘクタール
主な施設：観察センター…鉄筋コンクリート造2F建 346.46㎡
観察小屋…(東)木造1F建 41.4㎡ (西)木造1F建 42㎡

6 指定管理者
公益財団法人伏木富山港・海王丸財団

7 指定期間
3年
令和5年4月1日 ~ 令和8年3月31日

8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人） ※この他、参考となる指標があれば追加

【海王丸パーク】				
R1	R2	R3	R4	R5
1,201,500	563,500	577,000	853,600	841,000

【富山新港臨海野鳥園】				
R1	R2	R3	R4	R5
3,380	2,670	2,610	2,600	2,120

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

R1	R2	R3	R4	R5
—	—	—	—	—

(3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

R1	R2	R3	R4	R5
—	—	—	—	—

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

令和5年度の海王丸パークの利用者数は84万1千人(過去最高を記録した令和元年度の約7割)にまで回復した。
今後とも立地条件を活かしたイベントの実施や広報、旅行代理店等への営業に努めてもらいたい。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ・年間を通じての各種自主イベントを実施
- ・イベントチラシやイベントスケジュールの作成配布、新聞広告、情報誌、ホームページへの掲載等によりイベント情報を発信。
- ・ホームページに加え、インスタグラム等のSNSを活用し、積極的に情報を発信。
- ・令和元年度にFree Wi-Fiの整備や休憩所のリニューアル等の施設を整備。

(3) 利用促進(収入増)に向けた取組み

- ・従来のホームページやフェイスブック、イベント情報ページに加え、令和2年度にInstagramを開設し情報を発信。
- ・新聞広告や各種タウン情報誌へのイベント情報掲載、テレビ番組への出演等による各種イベントのPR。
- ・テレビ番組撮影や雑誌取材の積極的な受入れ。
- ・平成30年度に展望広場の供用を開始。
- ・令和5年度には、パーゴラ休憩所や野鳥園の認知度向上と利用促進のため「案内版」を新たに設置した。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	海王丸パーク来場者を対象にアンケートを実施 (9月16日～18日, 9月23日～24日)
回答者数	122人
結果	家族での来場が78%を占めており、また、自家用車での来場が84%を占めている。満足度が高い景観・雰囲気と比較して、飲食物の充実や情報案内については不満足・やや不満足割合がやや高い結果となった。
結果を踏まえた改善事項	自家用車での来場者が大半なので、新幹線で来県された方にもお越しいただけるよう、富山駅・新高岡駅からのアクセス方法をホームページ等でPRする。今後も海王丸パーク・野鳥園の魅力増進を図り、効率化を高めつつ利用者に満足してもらえるような運営を行っていく。

② その他利用者の声を反映させる取組み

帆船ボランティアとの意見交換

③ 主な苦情と対応

なし。

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報保護規程を定め、職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6) 関係団体との連携

射水市や射水市観光協会、各種団体と連絡・情報交換を密にしている。

(7) 施設・設備の維持管理

適正に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

・週1回以上、特に台風や強風の翌日には必ずパトロールを実施し、危険な箇所や破損箇所がないか確認。
・職員及び専門業者によるパーク内の遊具の定期点検や修繕を実施。
・注意報発令時等に展望広場の出入口を閉鎖。
・新型コロナウイルス感染症対策として、各施設入口へのアルコール消毒液を設置、窓の開放や換気装置の常時運転による換気、手に触れやすい備品の定期的な消毒等を実施。
・非常時緊急連絡網を整備。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	6
無	-
無	-

【トラブルの具体的内容と対応】

なし。

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

・新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた利用者数は、令和元年に比べて約7割まで回復した。今後も、総帆展帆等の各種自主イベントを実施するなど、更なる利用者数増加のための取組みに努めてもらいたい。
・今後も経費削減を念頭に、財団職員で実施できる業務がないか等、再点検するとともに、利用者への更なるサービス向上に努めた運営を行っていく必要がある。
・また、平成4年の海王丸パークオープンから30年以上が経過し、施設の老朽化が著しいため、今後、修繕費の増加が懸念されるが、利用者の安全を最優先に、優先順位をつけて計画的に修繕を実施していく必要がある。